



(帝國)ヲ愈々心ヨリテ支那ノ共和
 ヲ折破シ再ハ清朝ヲシテ者故ヲ
 取ラシメント志ガレ先ツ蒙古邦
 郡王ヲ始メトシ冬王ニ送クニ
 支那ガ共和政治ヲ可トシテ
 月ヲ送ルルハ小皇玉等ノ土地
 自レ取リシ後ハ断セラレ向ニ
 必勝セル境遇ニ沈淪スルト
 定ナレバ今ノ内ニ清朝ヲ復辟シ
 皇王身ノ地位ノ富國ヲ新ツコ
 如何ニ
 ト皇太后布タル者等ヲテ専心詔
 カシメタルニ幸ヒニシテ郡王ヲ始
 トシ七王ノ賛成スル所ナリ一方
 西チヨリト王ノお抱ヲ撤當ニ換テ
 七若ヲ返ワテ洋銀三百万ヲ貸
 シタノ一カ方那郡王ノお抱ヲ撤
 當ニ大債務ヲ起サシメテ大
 ヒニ清朝復辟ノ準備ニ取リ掛
 ヲツノテPワタ
 刑部王ノ地撤當ニ借款云々
 一併ニ國公一切ノ借款ハ外務
 省ナリ
 昨大正四年六月二日吳台札布ヲ回
 仰上京シ大隈首相、加藤外相、
 外他政務局長トシテ親シク面謁
 シ此ノ弊等ノ誤ヲ進メニ非常
 ニ賛成セラレ又一面田中兵衛次長
 ニ面会シテ見聞ヲシテ水ヲ除盡
 セシニ田中兵衛次長向テ
 傳承古王ニ在標ニ運給ヲ取ラレ
 シ何ヨリモ待擗ナリト外他
 國家ノ大事ニ必要ナルハ其ノ
 運給ヲ固メ置カレタレ
 トノエラフタノテ自今ハ大ニ
 勇ニ喜ニテテPワタ
 ○支那政府ノ變化ト擧
 げノ進展
 斯クテ者ノ結果ヨリ支那ハ大
 改革カ起リテ未タ自分ハ此ノ時
 コソ多年ノ信認ヲ失ハスル時ナリ
 ト思フナリテ先ハ國家王公諸
 テハ名命カ立テ難ヒナリテ清朝
 自皇族ノ同意ヲ待タレバ故チ昔ヲ
 シテ運給セラレシ後果(醇親王
 ニ)非常ニ喜回且ツ大賛成セ
 レタノテPワタソレ此ノ擧す
 期スル清朝復辟スベク其任狀
 ラ一等伯爵榮勳ニ與ヘ茲ニ
 牙ノ擧ヲ根柢成リ領テ各地ノ
 運給ヲ圖ルベク北ハ朝陽ニ
 東北ハハイラルノ將軍 キョウイサイ
 吉林、長春、方面ノ權人ヲ始メト
 シ現在任官滿洲出身ノ文武百
 官ヲ選キ此レ等ノ徒ノ多ク
 成ラ得一方、伊通州ノ駐屯軍
 中ラ南嶺ニリ根固銃隊、炮
 兵隊一部、長春方面ニ
 出撃スルハる迄許リ、左勢力
 其外南方各地中馮、馮、馮
 等ノ同意ヲ得テPワタ
 斯クテエララス王地領分ニ來レ
 懷德縣ニ出テ、奉化、鄭家屯
 等ヲ占領シテPワタヤフヲ討
 伐セントスル吳炳軍ノ背後ヲ
 突キ向テ北京ニ至ル目的
 ヲ達ニスル也

